

第110回教育研究評議会議事要録

日 時 平成26年1月20日（月）14時00分開会～16時35分閉会

場 所 生物資源科学部1号館2階203会議室

欠席者 なし

陪席者 山崎監事

議事に先立ち、学長から大学入試センター試験が無事終了したことの謝辞が述べられた。続いて、第109回教育研究評議会の議事要録が承認された。

議題1. 中期目標・中期計画の変更について

塩飽理事から資料に基づき、「地（知）の拠点整備事業」に採択されたこと及び山陰法実務教育研究センター関連事業に係る経費が採択されたことに伴う中期目標・中期計画の変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2. 国立大学法人島根大学管理学則の一部改正等について

塩飽理事から資料に基づき、山陰法実務教育研究センターの設置、医学部の講座新設・名称変更及び総合理工学研究科博士後期課程の改組に伴う管理学則の一部改正について説明があり、原案に総合理工学研究科に置く領域長の職務に関する規定を追加することで、承認された。

続いて、塩飽理事から資料に基づき、山陰法実務教育研究センター設置に伴う同センター規則及び運営委員会規則の制定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題3. 大学機関別認証評価の受審体制について

塩飽理事から資料に基づき、平成27年度に受審予定の大学機関別認証評価の実施体制について、評価室の下に認証評価専門部会を置き、教育質保証委員会と連携を取りながら準備を進めることの説明があり、原案どおり承認された。

議題4. 教育学部長の選考について

学長から、現教育学部長の任期が平成26年3月31日で満了となることに伴う次期学部長の選考について提案があり、資料に基づき、教育学部から次期学部長候補者として小川巖教授を選考した旨の申し出があったこと及び選考経過等の説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

議題5. 学生の懲戒について

学長から資料に基づき、中間試験において不正行為を行った総合理工学部の学生並びに自転車の窃盗を行った生物資源科学部の学生に対する懲戒処分の申請があったことの説明があり、続いて、総合理工学研究科長並びに生物資源科学部長から事件の概要及び処分内容等の説明があった後、審議の結果、いずれの学生も停学2週間とすることが承認された。

協議事項1. 島根大学における年俸制の導入について

学長から、前回の教育研究評議会での協議並びにその後の文部科学省との意見交換を受け、本学における年俸制の適用範囲及び対象人数を見直す旨説明があった。

続いて塩飽理事から資料に基づき、平成26年度予算案として計上されている「年俸制導入促進費」の趣旨、積算単価等について説明があり、本学ではプロジェクトセンターのリーダー、サブリーダー及び新規採用の若手・外国人教員に加え、各学部等で新規に採用する助教を対象に70名程度への年俸制適用を想定している旨説明があった後、次のとおり意見交換が行われた。

- ・新規採用の助教に一律に年俸制を適用することに関して、医学部では臨床系は元々流動性が高く問題ないが、基礎系・看護系への導入は難しいとの意見があり、学長から一律に適用することは考えていないこと、また、助教への年俸制導入に関しては少し時間をかけて検討したいとの説明があった。

- ・プロジェクトセンターのリーダー、サブリーダーを兼務している教員が、年俸制適用後にリーダー等でなくなった場合の、年俸制適用の有無及びその評価方法は変更となるのかとの意見があり、学長から一旦年俸制になると元の給与体系には戻れないため、リーダー等でなくても年俸制を継続できるような評価の仕組みを検討したいとの説明があった。

最後に塩飽理事から、年俸制導入に伴いプロジェクトセンターをさらに拡大するため、今立ち上げているプロジェクト以外で考えられる学部横断的なプロジェクトを各学部からも提案して欲しい旨依頼があり、これに関する説明会を近日中に開催する旨説明があった。

報告事項

報告事項2. 塩飽理事から資料に基づき、島根県からの寄附により設置している医学部地域医療支援学講座を平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間更新することについて報告があった。

報告事項3. 塩飽理事から資料に基づき、医学系分野、工学分野及び教員養成分野のミッション再定義関係資料が文部科学省より公表された旨報告があった。

報告事項4. 塩飽理事から、3月9日に広島国際会議場で開催する古代出雲文化フォーラムⅡについて、プログラム及び現在の応募状況等について説明があり、まだ定員に余裕があるため学内外へのPRについて依頼があった。

報告事項5. 総務部長から、勸奨退職制度に代わる早期退職募集制度について、募集、認定等手続きの流れの説明があり、併せて、各部局内での周知について依頼があった。

報告事項6. 塩飽理事から、法人化10周年記念事業の一環として大学正門近くに建築する学生と市民が交流出来るスペースの名称を「学生市民交流ハウス」と決定したことの報告があった。

報告事項7. 肥後理事から資料に基づき、12月現在の今年度卒業・修了予定者の進路状況及び企業内定状況について報告があり、状況不明者の進路状況把握及び未内定者への支援について依頼があった。

報告事項8. 肥後理事から資料に基づき、12月27日現在の平成26年度大学院入学者選抜試験実施状況について報告があり、引き続き定員充足に向けての協力依頼があった。

報告事項9. 竹内理事から資料に基づき、昨年12月に本学大学院総合理工学研究科と釜

山大学校自然科学大学との部局間協定、全北大学校との大学間協定及びハサヌディン大学との大学間協定をそれぞれ締結したことについて報告があった。

報告事項 10. 辻理事から資料に基づき、平成26年度予算の概要について、12月24日に閣議決定された政府予算のうち本学関係分の概要、国立大学法人全体に係る予算及び国立大学の機能強化に係る予算の概要を中心に説明があった。

報告事項 11. 辻理事から資料に基づき、平成25年度補正予算（第1号）として内示のあった研究設備の予定事業について報告があった。

報告事項 12. 辻理事から資料に基づき、先般実施した公的研究費等の不正使用防止に係る意識調査等の結果について、教員及び業者を対象にした調査では、いずれも100%の回答率であったこと、また、いずれも不正経理等の実態はなかったことの報告があった。

報告事項 13. 辻理事から資料に基づき、松江地区事業場における平成25年度教職員健康診断の受診状況について報告があり、引き続き各部局において未受診者への対応をお願いしたい旨依頼があった。

報告事項 14. 学長から、大学院法務研究科の今後について、現在の状況及び今後の見通し等について説明があった。

報告事項 15. 総務課長から資料に基づき、平成26年度教育研究評議会の開催日について報告があった。